

3 地域医療構想における将来の必要病床数との比較

病床機能報告は、毎年実施されることから、地域医療構想で定めた必要病床数との比較を毎年行っていくことにより、2025 年に向けて構想区域で不足する病床機能や過剰な病床機能の方向性が明らかになる。

構想区域	医療機能	病床機能報告 (2015年)		必要病床数 (2025年)		差し引き	
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比
県全体	高度急性期	4,936	16%	3,160	12%	1,776	-4%
	急性期	12,815	42%	9,084	34%	3,731	-7%
	回復期	3,174	10%	7,903	30%	▲ 4,729	19%
	慢性期	9,939	32%	6,437	24%	3,502	-8%
	計	30,864		26,584		4,280	
静岡	高度急性期	1,610	27%	773	15%	837	-12%
	急性期	1,885	31%	1,760	34%	125	3%
	回復期	519	9%	1,370	26%	▲ 851	18%
	慢性期	2,027	34%	1,299	25%	728	-9%
	計	6,041		5,202		839	
志太榛原	高度急性期	243	7%	321	10%	▲ 78	3%
	急性期	1,829	55%	1,133	35%	696	-20%
	回復期	366	11%	1,054	32%	▲ 688	22%
	慢性期	913	27%	738	23%	175	-5%
	計	3,351		3,246		105	
中東遠	高度急性期	288	10%	256	9%	32	-1%
	急性期	1,138	41%	1,081	38%	57	-3%
	回復期	349	13%	821	29%	▲ 472	16%
	慢性期	1,016	36%	698	24%	318	-12%
	計	2,791		2,856		▲ 65	